

江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会
■編集・議会広報特別委員会
〒043-8560
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地の1
☎[0139] 52-6713 (直通)



追分に触れて ～園児が熱唱～

あすなる幼稚園では、月2回程、園児全員で追分会館に向き、追分に触れる授業を行っています。子どもたちは、正師匠の杉山由夫さんから手ほどきを受け、「かもめ～」と熱唱。一所懸命、追分に取り組んでいました。

平成27年 9月議会

改選後初めての一般質問 に8人が登壇

—もくじ—

- ◇定例会の主な内容（概要）・・・・・・・・・・ 2～3P
- ◇行政報告・意見書を提出・・・・・・・・・・ 4P
- ◇一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～12P
- ◇定例会の主な内容（補正）・・・・・・・・・・ 13P
- ◇全員協議会・議員会活動・議会の動き・・・・・・・・ 14P

平成27年9月定例会が9月14日から15日に行われ、条例の一部改正や予算補正など提案された案件を審議し、原案どおり可決しました。

また、改選後初めての一般質問が行われ、8人の議員がさまざまな観点から町政に問いかけました。

8月11日～

新議員の任期が始まりました！

任期満了に伴う町議会議員選挙が7月26日に行われました。15人が立候補し、激しい選挙戦が繰り広げられ、26日の即日開票の結果、12人の当選者が決定しました。

8月11日から議員の任期がスタートし、18日の初議会を経て議長、副議長、各常任委員会等の委員長や副委員長が決定しました。任期は平成31年8月10日までとなります。



小笠原淳夫副議長



打越東亜夫議長



若山明廣議員



室井正行議員



小野寺真議員



飯田隆一議員



薄木晴午議員



小林くにご議員



西海谷望議員



塚本眞議員



小梅洋子議員



萩原徹議員

議会運営委員会

委員長	薄木 晴午
副委員長	小野寺 真
委員	小笠原淳夫
委員	若山 明廣
委員	萩原 徹

総務産業常任委員会

委員長	萩原 徹
副委員長	塚本 眞
委員	飯田 隆一
委員	小野寺 真
委員	小笠原淳夫
委員	西海谷 望

社会文教常任委員会

委員長	室井 正行
副委員長	小梅 洋子
委員	薄木 晴午
委員	若山 明廣
委員	小林くにご

広報特別委員会

委員長	萩原 徹
副委員長	西海谷 望
委員	小梅 洋子
委員	塚本 眞
委員	小林くにご

8人が一般質問！ 追分会館条例、元の条例に戻す一部改正を賛成多数で可決

9月14日～15日
第3回定例会

第3回定例会では、各会計決算認定や条例の一部改正、補正予算等が提案され、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。

一般質問は、初めて当選した議員4人を含む8人が行いました。

また、江差追分会館条例の一部改正についても審議が行われ、これまでに一部改正したパスポート制(1家族年1,000円、12月1日～)などをやめ、当初の条例の状態に戻す一部改正が、議員発議(小梅議員提出)で提案され、賛成多数で可決しました。これにより、これまで同様に、追分会館は観覧料を支払って施設を見学することになります。



江差追分会館条例の一部改正について、提案理由を説明する小梅洋子議員

こんなことが決まりました！

健全化判断比率等の報告

実質公債費比率14.9%

早期健全化基準の25%と比較すると10.1ポイント下回っている。前年度と比較すると0.7ポイントさらに改善されている。

将来負担比率95.1%

早期健全化基準の350.0%と比較するとこれを下回っている。ただし、前年度と比較すると6.0ポイント上昇している。

継続費精算



江差中学校改築整備

平成24～26年度で行われた江差中学校改築整備にかかる継続費の精算報告。

計 画 額：14億9,700万円

支 出 済 額：14億5,060万8,044円

条例改正

個人情報保護条例の一部改正

番号法※施行に伴い、特定個人情報（マイナンバー等）を含めた内容で条例を整備。

手数料条例の一部改正

番号法※施行に伴い、規定による通知カード等の再発行に伴う手数料の新設。

※行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

江差追分会館条例の一部改正

追分会館条例のパスポート制（1家族年1,000円、12月1日～）等の改正を行う前の、当初の条例に戻す一部改正を議員発議で提案、可決した。

決算認定

各会計の平成26年度決算認定について、閉会後開催される決算審査特別委員会に付託。

- ・一般会計歳入歳出決算
- ・国民健康保険費特別会計歳入歳出決算
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ・介護保険特別会計歳入歳出決算
- ・公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ・公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
- ・港湾整備事業特別会計歳入歳出決算
- ・奨学金特別会計歳入歳出決算
- ・水道事業会計決算



昨年の決算審査特別委員会の現地視察のようす（産廃処分施設を見学）

名誉町民・人事

・名誉町民が決定

前江差町長 濱谷一治氏
江差追分会名誉師匠 青坂 満氏

名誉町民は、町政の振興発展に特に顕著な功労があり、町民に深く敬慕され、または広く社会文化の興隆に寄与し、町民が郷土の誇りとする事ができる者を議会の議決を経て決定する。

・教育委員会委員の任命

高岡広明氏（橋本町・56歳・再任）

任期は平成31年9月30日までの4年間。

その他

加入している各組合理約の変更を審議

- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更
- ・北海道市町村職員退職手当組合理約の変更
- ・北海道市町村総合事務組合理約の変更

※予算補正の内容は13頁に単独で掲載しています。

行政報告



行政報告する照井町長

江差町ほか2町学校給食組合から厚沢部町の脱退について

江差町、上ノ国町、厚沢部町の3町で構成している「江差町ほか2町学校給食組合」から、厚沢部町が平成29年4月を目途に脱退する旨の通知が去る9月10日付けで厚沢部町長からあった。

厚沢部町では、少子高齢化が進むことにより、豊かな食生活と健康づくりは重要な課題であるとし、その解決策として学校給食のほかに幼児や高齢者にも地元食材を生かし、雇用の拡大と人口減少対策の役割を持つ施設として「総合給食センター」を整備する考えである。

本件については、一昨年から脱退の方向性の申し出はあったが、今般正式に通知を受け取ったので、脱退までの期間に必要な協議を重ねるとともに、その後の学校給食の提供については、上ノ国町と鋭意協議を進めていきたいと考えている。

現時点で今後に係る具体的なことは何も定まっておらず、3町との協議と共に上ノ国町との協議を進めながら、議会とも相談の場を設けることとなるので、ご理解頂きたい。

意見書を提出

9月定例会では7件の意見書を提出、3件を可決し、関係行政機関へ提出しました。

- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◆地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ◆ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

八議員が一般質問を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質すことができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

「ひのき荘整備計画の進捗状況と方向性について」

飯田 隆一 議員（無会派）

整備計画の進捗状況と今後の方向性、タイムスケジュールは、建設予定地、3方式ある運営方式、10億円以上かかると思われる建設資金の財政見直しは、起債償還と財政シミュレーションは、検討委員会の議論の内容は。

町長 現在、役場内に検討委員会を設置し方向性について協議を進めている。運営方法は、公設公営、民設民営、公設民営のそれぞれ利点と課題を示しながら判断しなければならぬ。財政見直しは、補助金を確保し、残りは起債と想定している。建設予定地は、移転改築が基本で、総合的に判断し、定員数、施設規模、改築時期を検討していく。財政シミュレーションも重視すべき事項と認識している。検討委員会での内容を踏まえ、議会と相談、協議の上、本年度中に一定の方向性を打ち出した。



9月18日に行われたひのき荘敬老会のようす。古いもので築40年以上経過した建物内は、傷みが激しく、入所者のニーズに応えられない状況となっており、早期改築が求められている。

副 財政規模、建設費用は。通院されている人はどのくらいか。用地の選定は。

ひのき荘長 平米当たり、概算で31万円から40万円と見込んでいる。通院は日常化し、1日当たり3・7人、平均1日2・1往復となっている。

副 候補地の決定、早期改築をスピード感を持ってやるべき。

副町長 建設予定地は重要案件の一つ。資料集めをさせている。年度末までに検討委員会の素案を示したい。

「江差高校の間口（こうぐち）」

今後の生徒数の推移と間口維持はどうか。

特別支援学級のあり方と誘致は。

町内の2中学校の特別支援学級の生徒数や卒業後の進路等の実態は。

教育長 平成31年からの4年間で、檜山全体で、1学級から2学級の調整が必要と示されている。

高校における特別支援学級の必要性は訴えてきている。配置計画を見極めながら注視していきたい。

現在、特別支援学級には江差中学校に8人、北中学校に3人、計11人いる。

「投票率の低下傾向と対策について」

投票率が低い原因とその対策は。投票時間の見直しの考えはあるか。郵便投票制度の周知、啓もうは。

選挙年齢の18歳以上への引き下げについてどのような周知等を図っていくのか。

町長 成人式でのメッセージ等、引き続き棄権防止を呼び掛けていく。国政や道選挙は標準投票は困難だが、町長選や町議選は可能。しかし、午後6時以降に投票した人が1割いることか

ら選挙で議論する必要がある。郵便投票制度は引き続き周知していく。選挙年齢引き下げは、道選管とともに江差高等学校や江差高等看護学院へ周知を行っていく。

副 時間を短縮した場合の人員費を含めた選挙費用はどのくらいか。郵便投票の周知について、対象となる人ほどの人にはしっかりとPRすべき。

総務課長 選挙の時間外手当は1時間で10万円強。立会人は1日いくらのため、時間短縮しても変えない。郵便投票対象は、総体で約280人いる。うち制度を利用して利用するのは12人。施設入所率も高いため施設で不在者投票もできる。今後連携して周知できる方法がないか模索していきたい。

副 投票率を上げる努力はしなければならぬ。改めて方法含め、周知の決意は。

投票時間は段階的に繰り下げて十分投票率は向上するのではないかと。

総務課長 全体的な投票率アップのため周知は徹底していきたい。投票時間の繰り下げは選挙管理委員会で協議をしていきたい。

「まちづくりの若者の参画について」

萩原 徹 議員（無党派）

若者が交流し、活動するための基盤整備について、どう考えるか。

若い世代に耳を傾ける機会を設けるべきと考えられているか。

町長 若者が主体的に、また継続的に活動するための仕組みを構築するため、本年度、地方創生先行型交付金を活用して、若者交流促進事業を予算付けし、現在、団体と事業内容に関して意見交換を行っている。若い世代が自主的に集い、意見を出し合い、活動する場を積極的に支援して

いきたい。

町長 次代を担う若者の意見は大変貴重だと認識しており、早い時期にまちづくり懇話会で意見交換が出来る環境を整えていきたい。

町長 まちづくりには、若者、よそ者、馬鹿者が必要。よそ者としての、地域おこし協力隊の配置はどうなっているか。

まちづくり推進課長 4月から募集しているが苦戦を強いられている。観光振興の方は9月に応募があり、面接を済ませている。準備が整い次第、追分観

光課に配置したい。

一時産業の支援については、応募がない状況であり、引き続きPRを図っていきたい。

町長 これからのまちづくりにどのような若者を望むか。

町長 色々な立場の人がいるが、一番大事なこの江差を愛する人だと思っている。生涯をこの地域で閉じたい、人生をこの江差で完結したいという人を応援していきたい。特にチャレンジ、挑戦する人を後押ししたい。

「育てる漁業の推進について」

江差町における育てる漁業の可能性について、どう考えているか。

管内で唯一、中間育成施設を有していないが、これからの漁業形態を考えるとき、中間育成施設の整備は不可欠と考えるがいかがか。

町長 これまで以上に育てる漁業の取り組みが重要と考えており、引き続き増養殖事業への支援をしていきたい。

中間育成施設を整備、運営するには越えなければならぬ。幾つかのハードルがあり、種苗生産ともなれば、安定的な販売先の確保も必要となる。他町の情報収集に努め、関係機関と協力しながら

ら、効率的かつ効果的な施設整備について、精査、検討を進めるべきと考えている。

町長 ソイやメバルの針ものを育てるのもいいのではないかとという漁業者の意見があった。また、栽培漁業振興公社等の知恵を借りたり、事業所の誘致を考えてはどうか。

産業振興課長 一部増殖の取り組みを小規模だがしている。有力な魚種に力を注ぎながら取り組んでいきたい。

中間育成の施設は、色々なハードルがある。特に財政問題等を整理して、力を入れていきたい。

「中学校の部活動について」

江差中学校、江差北中学校野球部は合同チームになっているが、今後の団体協議等の部活動の考えは。

教育長 学校が主体的に部活を求める生徒や、保護者の理解も頂き、町内校はもとより、部員不足が生じている町外の学校と条件を整えば、合同チームを結成することについて、積極的に色々な面で支援をしたい。

町長 サッカー等のクラブチームへの支援策はあるか。

学校教育課長 中学校にサッカー部が無いという事になるが、コロンについて、スポーツ少年団に加盟しているため、公式試合等については町有バスの利用が可能。中体連同様の対応をしていきたい。



6月に行われた「えさしワールドカフェ」。約70人の参加者が江差の未来について熱く語り合った。ワールドカフェは、カフェのような和やかな雰囲気の中で、テーマごとにメンバーを変えながら話し合うスタイルで行われ、多くの町内に住む若者が参加した。

「江差町における農業振興について」

塚本 眞 議員（無党派）

水稲は近年の米価の下落等で所得がかなり低下し、農機具や諸資材の値上げ等により、厳しい経営が強いられている。さらに、追い打ちをかけるように、国ではTPP交渉により、更に外国米の輸入を増やそうとしている。より一層、米作付農家の経営を圧迫しかねない状況にある。町として、このような状況におかれている稲作経営に対する生産コスト低減等の支援策が必要と考えるが、町の考え方は。

現在作付している作物に加え、江差町の温暖な気候を生かした高収益作物の模索が必要と考える。指導機関やJA等と連携した新たな高収益作物の調査、研究が必要と考えるが、町の考え方は。

町長 国ではこの米価

変動に対応できるよう稲作農業の体質を強化するため、体質強化緊急対策事業を平成26年度補正予算で事業化した。当町においても直ちに町内農業者に本制度を周知し、助成支援を行っている。米の相対取引価格については、米の作付生産数量目標は、平成30年以降、米の直接支払い交付金が廃止されるため、行政によ

る生産数量目標の配分に頼らずとも生産者自らが生産量を判断できるように各種制度の活用も含め、行政、生産者、団体が一体となって取り組んでいく。農業者のコスト低減に対する支援策は、立茎アスパラガスやブロッコリー等の町の振興作物について支援を行う産地生産力強化総合支援事業を平成23年度から4年間の

制度設計で実施している。さらに4年間延長し、ビニールハウスの建設費用や、水道料、堆肥や苗の購入費用、江差土地改良区に対する厚沢部川かん排事業償還金の負担軽減を図る。また、農業経営基盤安定対策事業として、5年間の農業機械導入助成事業と、3年間の農業共済掛金助成事業の2本立てで制度化した。これら事業の両輪で農業者の経営基盤強化を図っていききたい。

また、新規作物の試験、研究について、平成12年から檜山南部地域で始まった立茎アスパラガス栽培等といった新規振興作物について、生理障害要素の究明など各種調査を関係の専門機関の協力を頂きながら実施しており、今後においても地域農業者や農業改良普及セ

ンター等関係機関と十分話し合いと検証のもと、新たな作目の取り組みを検討したい。

今後、試験研究の予定はあるのか。関係機関との協議は進んでいるのか。

産業振興課長 立茎ア

スパラガスやブロッコリーが中心となり、支援している状況。現在のところ、まだ有力な作物は出てきていない。作物、品種の選定や、栽培方法、生理障害の研究等、農業者特にこれから地域を担っていく若手農業者の意見、農業改良普及センター等の関係機関とも十分協議を進め、マスタープランである、人・農地プラン検討委員会の検討を加えながら、産地生産力総合支援事業などでの支援が出来ないか、今後検討していききたい。



ブロッコリーの収穫作業
(中網町)



立茎アスパラガス
(鹹川町)

「包括支援センターとコミュニティ」

小梅 洋子 議員（無党派）

地域支援のなかで、見守りや住民参加型の事業の内容、計画等、包括支援センターが目指す事業は。

町長 27年度は、各町内会、老人クラブ等との懇談を通じ、高齢者の困りごと等のニーズ把握を行っている。介護保険法の改正により、要支援認定者への通所介護と訪問介護が、介護給付から地域支援事業に移行し、多様な形態のサービスで高齢者を支えていくことになった。地域の実情、高齢者のニーズ等からどのような支援や体制が望ましいのか、特に日常生活支援において行政だけでは支えきれないこともあり、地域住民の知恵と力で、地域包括ケアシステムの構築を目指している。

再 ボランティア組織の立ち上げは考えているのか。

健康推進課長 高齢者の問題は高齢者のものと

「まちづくりのつらさ」

日頃参加が難しい女性、主婦や若いママさん等、また子どもたちからも自由な立場で知恵や発想を聞いてみてはいかがか。

町長 女性や子どもの視点はまちづくりを進めていく上で欠くことのできないものであり、今後のまちづくり懇話会のテーマの設定や一歩踏み出して学校の子どもたちと意見交換する場を設ける等、工夫を凝らしていきたい。

再 女性の立場から望むこともたくさんある。女性が気軽に参加し、発言できる機運を高めることも大事。子どもの自由な発想を作文等で募集してはどうか。

まちづくり推進課長 高校生等、子どもたちの懇談の場を設ける、或いは札幌江差会等の外の視点からの声にも耳を傾けるべきではないかと検討している。子どものハッとするような発想や女性の日々の生活の中から出てくる意見等、皆さんの声を聞く機会を設けていきたい。

「一年を経過して」

町政を担う立場になつての一年を振り返って心境の変化はあったか。

町長 昨年8月に就任して1年が過ぎ、江差出身ではないが、この1年間より一層この町が好きになったというのが、率直な感想である。町政懇談会は取りやめたが、その分できるかぎり町民との懇親や交流の場に参加してきた。行事やイベ

ントもなるべく一緒に楽しむことを心がけてきた。その中で少子高齢化や、人口減少の進行という大きな課題を抱えながらも、この町を何とかしたいという町民の江差に対する熱い思いを感じてきた。私の責務はこの町民の思いを一つにまとめ上げ、町政や町づくりを前進させることだと思っ

ている。就任1年目から2年目に入る本年度、江差町創生元年として各種施策の具体化に取り組んでいる。私自身に行政経験はないが、副町長や教育長を始め町職員一人一人に支えられているからこそ、やって来れたとも思っている。時には私と町職員の間で意見を戦わせる事もあり、じよつぱり町長だと感じている町職員もいるはず。しかしそれも町民のためになる

か、30年後の江差に責任を持てる判断か、を基準に考えて議論をしてきた。今後もこの思いは変わることなく、職員と議論を交わしながらも一丸となって、将来に誇れる町づくりに努めていく所存であり、町議会議員の皆様と力を合わせ取り組んでいきたいと考えている。



3月に行われたまちづくり懇話会。追分会館に追分関係者が集まり、率直な意見交換を行った。照井町長就任後、一次産業（農業・漁業）関係者とのまちづくり懇話会や、町職員との世代別懇話会等、意見交換の場を設けている。

「ふるさと応援寄附金制度について」

西海谷 望 議員（無党派）

寄附金に目標を定めているのか。
インターネット、チャシ以外の周知、PRを行っているのか。PRの特産品の商品開発の取り組みは。

町長 目標は、何よりも江差町のPRや町内の経済活動が活発化し、波及していくこと。最終的には雇用や起業に結び付けたい。

周知方法は、株式会社サトフルのホームページ上での周知等と併せ、町ホームページや広報誌、雑誌等の媒体を通じて広くPRを図ってきた。また、機会あるごとにPRに努めているが、更なるPRや周知について各方



江差追分全国大会で、受付場所のそばにふるさと応援寄附金のコーナーが設けられた。

面からアドバイスを頂きながら、検討、実施していきたい。

町長 商品開発は、地方創生先行型交付金を活用した、側面からの支援を目的に事業を実施しており、現在、町内3事業者が開発に取り組んでいる。

望 金額は目標を立てるべきでは。

役員や姥神まつり等でのPRブースを設ける等、取り組みが必要では。商品開発は、お菓子等ではないのか。パッケージ等イメージ作りも大事では。

まちづくり推進課長 ふるさと応援メッセージを付けること等検討している。町民を巻き込んだPRは検討の時間を頂きたい。

商品作りは、お菓子類も含め、新たな商品構成を考えている。特産品開発事業は、パッケージや包装用紙等のデザイン等も対象にしている。

町長 目標金額は公の場で発信はしていないが、試行錯誤の部分もある。来年度に向けて目標を掲げていきたい。

「運動公園の利用促進について」

多目的広場の人工芝へ改修の考えは。
多目的広場の夜間照明設置の考えは。

合宿や大会誘致に積極的に取り組むべきでは。

教育長 人工芝には概算で2〜3億円かかり、将来的な課題。現在の天然芝を出来る限り良好な状態に管理できるように対策を講じていきたい。

照明設備は、利用状況と必要性を見極める必要がある、工費は最低でも1千万円単位の費用が見込まれる。今後の検討課題とさせて頂きたい。

各施設の管理を十分進めながら、PRし、合宿や大会の誘致を図ってきたい。

望 有料施設であり、整備をすることが当たり前では。対応策を講じてほしい。

大会誘致は、経済波及効果の面もある。それを試算したことがあるのか。

社会教育課長 他（地区）のグラウンド整備等に学びながら、（専門家の）技術的指導を頂く等の機会を設けていきたい。

合宿の経済波及効果は試算した経過はないが、

あらあらの数字は出てくる（還暦野球大会では約3百万円等）。

望 合宿に対する助成や支援制度等、政策的な取り組みが必要では。

社会教育課長 現在、具体的な支援はない。バスでの送迎や運動公園の利用への便宜等の支援を打ち出せば促進に繋がる可能性はある。制度設計できるか考えていきたい。

「かもめ島の環境整備について」

港湾エリア、観光エリアそれぞれの環境整備における具体的な計画は。

島上の老朽施設について、早急に改善対策が必要ではないか。

町長 町のシンボルであるかもめ島を中心とした南埠頭一帯は今後の観光振興や町民の憩いの場として重要な役割を果たすべき拠点として、任期中にプランの作成に取り組んでいきたい。

島上の老朽施設は、景観上また南埠頭を含めた拠点整備を進める上で支障となっている物件。所有者が個人であるため、行政が公金を使って解体撤去することは是非や財



9月下旬に運動公園多目的広場で行われたサッカー交流試合のようす。授業、練習や試合等で年間延べ174日、9,837人が利用している。

政治的な負担が大きいなどの課題がある。拠点整備を進める上で改めて協議を進めていきたい。

望 江差町市街地活性化の提案書に書かれた多くの課題を誰がどうやって考えて実行していくのか。

まちづくり推進課長 かもめ島周辺の賑わいの創出は、道の駅構想、子どもの遊び場等ソフト事業を中心とした提案。民間のお力をお借りし議論を深めなければならぬ。庁内関係課と施策の実現に向けていきたい。

「退院迫られる高齢者対策について」

小野寺 真 議員（日本共産党）

退院迫られた行き場のない高齢者の状況を把握しているか。施設等の待機状況は。

介護施設、高齢者住宅施策等、総合的な対策が急がれる。町の考えは。

町長 都度対応しているが、全体的な実態については把握していない。介護施設等の待機状況は約百人の申込者があり、病院から施設に入所するのは困難な状況。共通する課題を集約し、高齢者が安心して暮らせる

町づくり、地域包括ケアシステムの構築をより一層推進していきたい。

「入院ベット大幅削減の国の計画について」

10年後のベット数が南檜山で45%削減という試算が出ています。南檜山医療圏の江差町民にとって大事な問題。町はどのように対応しているか。

町長 道が2次医療圏ごとに病床数の推計を行い、必要病床45・6%削減と報道された。地域医療構想調整会議で実情を踏まえた協議を行っており、10月

町づくり、地域包括ケアシステムの構築をより一層推進していきたい。

町長 包括支援センターを使って手立てを取れば。実態をつかむことが必要では。

健康推進課長 医療、介護の連携は勉強会等の機会を設けながら、それを継続していきたい。

相談に来た部分での実態は押さえているが、解決ができない部分は地域ケア会議での課題として

「町営住宅について」

町営住宅に相当の空きがある。入居者募集するか、そのまま放置するか。そのままするのか。

町長 老朽化が激しくかつ修繕規模が大きいものは募集停止、それ以外は随時入居頂いている。今後もそのように取り進めたい。

町長 戸数が何戸あり、空きが何戸あるのか。募集停止の位置付けは。政策空家とは。南が丘は比較的新しいが、修繕と募集の状況は。

「町営住宅について」

町営住宅に相当の空きがある。入居者募集するか、そのまま放置するか。そのままするのか。

町長 老朽化が激しくかつ修繕規模が大きいものは募集停止、それ以外は随時入居頂いている。今後もそのように取り進めたい。

町長 戸数が何戸あり、空きが何戸あるのか。募集停止の位置付けは。政策空家とは。南が丘は比較的新しいが、修繕と募集の状況は。

健康推進課長 会議のメンバーは、各町の首長及び関係医療機関の院長、介護施設の施設長等が入っている。

副町長 函館の病院に行くなどという強制はできないが、地域の医療機関にかかって頂くこと等、深い議論をしなければいけないと思っ

財政課長 423戸のうち入居が336戸。87戸が空家となっている。大規模修繕がそのうち58戸で、6割を占めている。

政策空家の位置付けはしていない。修繕は現在住んでいる人が優先され、その後空家を修繕している状況。

再 大規模修繕等の計画的な用途は。南が丘は2階建てで、階段が急で高齢者向けの住宅ではない。そういう実態を知っているか、どう考えるか。

他に「住宅リフォーム助成について」を質問しています。

財政課長 入居者の高齢化は進んでいる。南が丘は階段が急だということとは承知しているが、改築という方向にはならないと思っ

え等を検討し対応していきたい。

副町長 財政状況等もあり足踏み状態だったと反省しているが、計画的な修繕がどうやれるのかを含め、来年度の予算以降少しずつ反映していきたい。

他に「住宅リフォーム助成について」を質問しています。



町営住宅南が丘第1団地。1棟4戸2階建ての8棟32戸で、そのうち入居しているのは24戸。昭和51年から53年にかけて建設された。このような2階建ての町営住宅は南が丘だけに見られ、高齢者には不便な造りとなっている。

「公園整備について」

小林くにこ 議員（日本共産党）

昨年、町内女性団体からの要望事項はどのような対処がされたのか。

茂尻児童公園について、整備計画、地域利用者との話し合い、冬期間の公園のあり方は。

町長 女性団体からの要望事項は、今後検討するという回答をしている。

安全性の確保から維持管理に努め、老朽化した遊具の補修や撤去を優先的に進めていく。その後、



(上) 現在使用できない逆川森林公園の遊具。補修されないまま現在に至っている。



(右) 茂尻児童公園に設置されている大型遊具。近年、茂尻児童公園はこの遊具の設置、トイレの改修が行われた。

全体的な整備計画を策定し、検討していきたい。

茂尻児童公園は、既存施設の補修を進め、新たな遊具等は整備計画の中で検討していきたい。

(利用者) これまで話し合いの経緯はないが、町内会等を通じ意見を聞くことを今後検討したい。

冬期間の利用について、冬場の子どもの遊び場は検討課題としたい。

再 逆川森林公園について、熊の注意喚起対策はしているか。案内などがない。

芝は綺麗にしているが、トイレや遊具等の継続的な管理整備をすべきでは。

財政課長 利用者への注意喚起の看板は設置していきたい。出没情報等も共有化を図り対策を講じたい。

管理委託している団体から施設の補修等の要望があった。これを確認し、全体的な公園管理として補修・撤去を進め、計画的に整備していきたい。

再 茂尻児童公園の駐車場の整備、確保はできないか。

雪山を利用した期間限定のイベント等の実施はできないか。

財政課長 茂尻児童公園の駐車場を新たに設けるのは不可能と考えているが、消防本部の駐車場を利用してもらうよう周知看板等の設置を考えた。

雪山に関しては、安全性をクリアできなければ短期間でも厳しい。検討課題としたい。

「子どもの貧困対策について」

町として子どもの貧困の実態をどのように調査、把握しているか。

町長 本町における子どもの貧困に関する実態調査については行っていない。今後、国や道で進められる子どもの貧困に関する具体的な制度施策を踏まえ、町としても可能な限り対応を進めていきたい。

再 1人親家庭は江差

で何世帯か。江差の貧困化率をどう見ているか。

町民福祉課長 1人親家庭は正確な数字ではないが、平成22年の国勢調査の数値を参考にすると、江差では約95世帯。児童扶養手当の受給世帯が約110世帯。この世帯は何らかの形で困っている世帯だろうと捉えている。

「就学援助について」

受ける資格があるのに受けていない児童生徒はいないか。

いつでも申請できるようになってきているのか。

教育長 就学援助は経済的な理由により学校給食費や学用品等の一部を援助する制度。保護者に対しては毎年周知を行っている、申請をしてくださという文書を配布しており、漏れはないと考えている。

申請は、原則年度当初の4月。年度途中の申請も可能。今後とも制度の周知を徹底し、保護者の

経済負担を軽減し、家庭生活環境の向上に努めたい。

再 申請書は児童から親へ渡すのか。多忙なために申請する時間がない、羞恥心から申請をためらう家庭はいないのか。

学校教育課長 全生徒、児童に配布している。学校での取扱いは、当該児童生徒に劣等感を抱かせることのないよう、申請事務の際は十分配慮するよう指導している。

「江差町の懸案課題に対して」

室井 正行 議員（無党派）

懸案課題について、具体的に動かす必要がある。総合的な考え方は。

町長 難しい懸案や相

当の時間を要する懸案が山積している中、町単独での課題の解決は困難と想定され、地元選出の国会議員や、道議会議員さらには地元商工会や経済団体等多方面からのお力添えを頂きながら、ひとつひとつ課題の解決に向けて取り組んでいきたい。

再 どんな町として後

世に継承するのか。魅力を生かした先見性のある町づくりが急務では。

必要に応じて調査費を付け町を大きく動かすべき。

副町長 財政的な見

通し、優先度も含め立てていかなければならない。調査費については、内部で検討を積み上げていきたい。

再 JR江差線廃線

に伴う道路整備調査費が予算付けされている。今後のスケジュールを組ん

でもらいたい。

財政再建にこだわらず、基金等の有効利用を

真剣に考えていくべき。

建設水道課長 歩道橋

に代わる道路新設と、砂川から椴川にかけての国道と旧道のアクセス道路の概略設計を補正案件としている。今年度中にはどこに道路を付けるか等具体的に進めていきたい。

まちづくり推進課長 かもめ

島の急カーブ解消等、協議の課題について動き出している。

町長（基金は）前町

長の苦勞の賜物と認識している。油断できない状況が続いており、財政をしっかりと見極め、しかしながら前に事業を進めていくのが手腕の見せ所と思っている。知恵を絞り、色々な皆様のお力をお借りし、町政を進めていきたい。

「江差町の懸案課題に対して」

旧江光ビル跡地に対する、町としての基本的な考え方と所見は。

町長 商工会が策定す

るビジョンや事業計画の提案を待つて、今後町として商工会側と一定程度協議すべきと考えており、最大限民間の力を借りた施設の整備、運営を行っていききたい。議員の意見を踏まえ、上町の再生の拠点として道筋を付

けられるよう努めたい。

再 この跡地は非常に大事な場所。このあり方、使い方は極めて重要。町の意見も出すべき。

（新地交差点の）実際の調査設計や測量はど

うなっているのか。

まちづくり推進課長 地域商業自立促進支援事業の補助を得ての事業は、江差のターニングポイント

「旧鉄口旅館跡地の有効活用に対する江差町の対応と要請について」

旧江光ビル跡地、旧鉄口旅館跡地、その中間に位置する旧カネマツビルの再利用計画と法華寺通り商店街整備は、中心市街地活性化対策の重要な

拠点整備と考えるが。

町長 商工会が策定す

る事業計画を踏まえ、上町全体の必要な施設等について相談させて頂きたい。旧カネマツビルの再利用計画及び法華寺通り商店街の整備も、商工会が策定する計画を踏まえ検討していききたい。

再 検討だけでは事業はできない。町として民間に提案すべき。

副町長 民間の意向も吸い上げし、十分心して対応したい。



旅口中の跡地（上）
旧鉄口旅館跡地（右）
な工事跡地（左）
に旧鉄口旅館跡地（右）
更にある旧鉄口旅館跡地（左）



町道江差中学校通り改良舗装など

9月14日～15日 第3回定例会

1億1,467万1千円を補正



9月定例会では、町道江差中学校通り改良舗装、町道除雪対策、ふるさと応援寄附金、未利用町有地売却促進対策などの予算補正が行われました。議員は、内容などについて質疑し、今後の方針等について確認しました。

車道舗装と歩道舗装、横断排水、駐車場の工事を予定している江差中学校通り

【補正予算】

◇一般会計

- 町道除雪対策 3,233万9千円 (全額一般財源)
- 町道江差中学校通り改良舗装 2,718万2千円 (地方債他)
- ふるさと応援寄附金 889万3千円 (その他特定財源他)
- 未利用町有地等売却促進対策 709万9千円 (全額一般財源)
- ナマコ養殖施設 (浮沈式生けす) 整備事業補助 500万円 (道支出金他)
- ナマコ増殖施設 (浮体式いかだ施設) 整備事業補助 400万円 (道支出金他)
- 平成26年度障害者自立支援給付費国庫・道費負担金返還 375万5千円 (全額一般財源)
- JR江差線廃線に伴う道路整備概略調査設計 300万3千円 (全額一般財源)
- 江差地域漁業振興緊急対策 (ナマコ養殖試験種苗購入補助) 212万円 (道支出金他)
- 社会保障・税番号制度各種経費 (VPN装置・カード交付・印刷システム) 163万1千円 (国庫支出金他)
- 町営住宅南が丘第1団地耐力度調査 127万5千円 (国庫支出金他)
- 南が丘小学校多目的ホール床暖房ボイラー改修 82万1千円 (全額一般財源)
- 海岸漂着物対策推進 81万9千円 (道支出金他)
- 町表彰式 (名誉町民表彰) 71万8千円 (全額一般財源)

◇介護保険特別会計

- 平成26年度介護給付費負担金等返還 992万8千円 (全額一般財源)

◇水道事業会計

- 配水設備拡張費 608万8千円



昨年、江差中学校の生徒によるかもめ島清掃のようす(海岸漂着物対策推進事業)



ナマコ増殖に使用する浮体式いかだ (ナマコ増殖施設整備事業補助)



歩道橋の撤去も調査の対象となっている(JR江差線廃線に伴う道路整備概略調査設計)

議員から質疑！

問：ふるさと応援寄附金対策について、委託業者の手数料が高いのでは。加工商品等は町内で買えるのか。

答：手数料は12%で契約しており、3割程度が町に残る計算となる。加工品等は多岐に亘っており、それぞれの業者等で買うこととなる。

問：南が丘第1団地耐力度調査は他の住宅はしないのか。

答：同じ年度の棟があればそのうち1棟だけ実施すればいいことになっている。

問：バス停等の乗り降り場所の除雪対策は。

答：歩道やバス停は出来るだけ朝の除雪が終わり次第対応している。バス停はバス会社で回っている状況もある。

議会の動き

7月29日

◆江差町ほか2町学校給食組合議会第2回定例会

8月18日

◆第5回臨時会（出席12名）

◆議員会臨時総会（出席12名）

・会長、副会長の選出について

◆H26年度各会計決算審査特別委員会（出席10名）

・委員長、副委員長の選出について

◆広報特別委員会（出席5名）

・委員長、副委員長の選出について

8月28日

◆江差町ほか2町学校給食組合議会第3回臨時会

◆南部松山衛生処理組合議会第2回定例会

◆檜山議長会・渡島檜山議長会連絡会議（乙部町）

9月2日

◆議会運営委員会（出席5名）

・第3回定例会について

◆全員協議会（出席12名）

・公有地売却促進について

・JR江差線廃線後のインフラ整備について

◆総務産業常任委員会（出席6名）

・事務調査について

9月8日

◆社会文教常任委員会（出席5名）

・事務調査について

◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）

・第3回定例会について

9月14～15日

◆第3回定例会（出席12名）

◆H26年度各会計決算審査特別委員会（出席10名）

・審査日程、方法、現地視察等について

9月16日

◆議員会清掃活動

・かもめ島前浜の清掃

10月6日

◆総務産業常任委員会（出席6名）

・新幹線を活用した産業振興に関する事務調査について

10月15日

◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）

・議会だより発行の考え方について

・11月号議会だよりについて

10月19日

◆檜山広域行政組合議会第2回定例会

10月21～23日

◆H26年度各会計決算審査特別委員会（出席10名）

10月21日

◆全員協議会（出席12名）

・日本で最も美しい村連合加盟について

・北前船寄港地フォーラムin江差・道南の開催計画について

・JR江差駅周辺用地（公営住宅建設用地）のゾーニングについて

・江差町地域おこし協力隊員の採用について

◆広報特別委員会（出席5名）

・11月号議会だよりについて

全員協議会を開催しました

9月2日、10月21日に全員協議会が行われました。その内容についてお知らせします。

9月2日

・公有地売却促進について

公有地売却促進に関する奨励制度の概要について説明があった。

＜制度の主な内容＞

・町有地等を購入し1年以内に町内の業者で住宅建設した者に対し、販売価格の30%を現金で交付。

子育て世帯には加算がある。

・JR江差線廃線後のインフラ整備について

江差駅があったことを偲ばせるモニュメントを設置し、実際に駅で使用されていた備品等を展示し、観光客等の誘客施策を展開することを検討していく。

10月21日

・日本で最も美しい村連合加盟について

NPO法人「日本で最も美しい村」連合に江差町の加盟が正式承認された。照井町長が長野県木曾町で開催された臨時総会に出席し、加盟の挨拶に立った。北海道での加盟町村は、美瑛町、赤井川村、鶴居村、標津町、京極町、黒松内町、滝川市江部乙、江差町の8町村となった。

※日本で最も美しい村連合とは・・・フランス発祥の活動を模範として2005年に設立。小さくともオンリーワンを持つ農山漁村が加盟し、美しい村のシンボルマークを目印として、将来にわたって美しい日本を目指す。

・北前船寄港地フォーラムin江差・道南の開催計画について

次回の北前船寄港地フォーラムを江差で開催したいこと、石川県加賀市で行われるフォーラムに出席することを町長から説明。

・JR江差駅周辺用地（公営住宅建設用地）のゾーニングについて

公営住宅建設位置、交流広場の設置、分譲地等の位置関係等の異なる3案について、図面を提示し説明を行った。

・江差町地域おこし協力隊員の採用について

追分観光課に配置する協力隊員1名について資料を提出し、業務等について説明。

清掃活動を行いました

～江差町議員会～

江差追分全国大会を目前にした9月16日、江差町議会議員会（会長：室井正行）がかもめ島の清掃活動を行いました。

江差を訪れる観光客や追分関係者の皆さんが、気持ちよく江差で過ごして頂きたいとの思いから実施しました。



清掃活動には町長、副町長、教育長も参加しました。